

# 製品安全に対する取り組み

2018年 6月11日



不二サッシ株式会社

## ・社名

不二サッシ株式会社

## ・所在地

神奈川県川崎市幸区

## ・創業

昭和5年7月1日

## ・従業員数

853名(連結 2, 978名)  
平成28年12月31日現在

## 経営理念

不二サッシは  
窓から夢をひろげていきます

私たちはお客様との絆を大切にします  
私たちは心をこめた商品を出します  
私たちは活力あふれる気風づくりに努めます

# 不二サッシグループの紹介



# 不二サッシグループの事業分野

## 建材事業

アルミサッシのパイオニアとして、カーテンウォール、ビル用サッシ、フロントサッシ、住宅建材商品等の製造・販売を行っています。



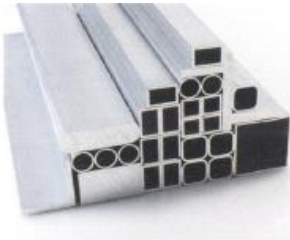
オフィスビル



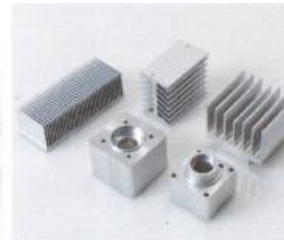
マンション

## 型材外販事業

建材をはじめ半導体製造装置、自動車関連、家電製品、事務機など、さまざまな製品に使用されるアルミ型材、アルミ精密加工品の製造・販売を行っています。



さまざまな形状のアルミ型材



空冷ヒートシンクなどのアルミ精密加工品

## 環境エンジニアリング事業

都市ゴミ焼却施設の飛灰処理施設プラントとそれに伴う薬剤販売、都市ゴミリサイクル施設の設計・製作・施工を行っています。



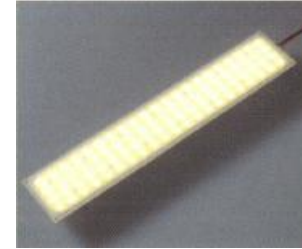
破碎機



混練機

## LED事業

当社が独自開発した極薄のLEDモジュールを使った商品開発を進めています。また、水銀灯や蛍光灯などの従来照明からLED照明へのリニューアルも行っています。



LEDプレート



アルビームカーテンウォール

## その他の事業

アルミニウム押出加工技術をベースにマグネシウム合金やそれを活用した製品の開発、また、多目的に使用できるユニットハウス、災害救護機能倉庫、防災・備蓄倉庫の製造販売を行っています。

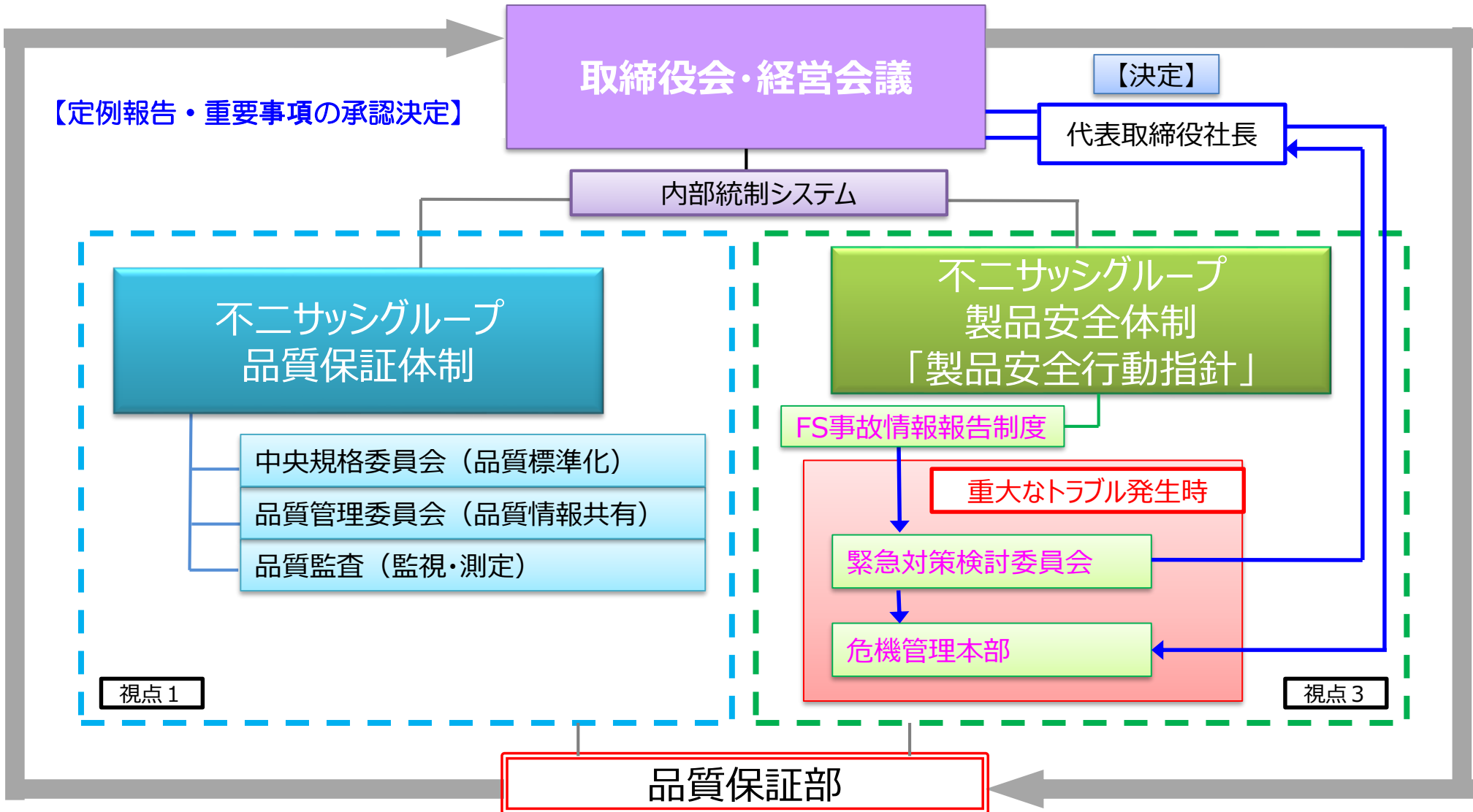


ノートパソコンなどに使用される汎用マグネシウム合金



ユニットハウス  
(ベターリビング認証製品)

# 不二サッシグループの製品安全体制



【定例報告・重要事項の承認決定】

取締役会・経営会議

【決定】

代表取締役社長

内部統制システム

不二サッシグループ  
品質保証体制

- 中央規格委員会（品質標準化）
- 品質管理委員会（品質情報共有）
- 品質監査（監視・測定）

視点1

不二サッシグループ  
製品安全体制  
「製品安全行動指針」

FS事故情報報告制度

重大なトラブル発生時

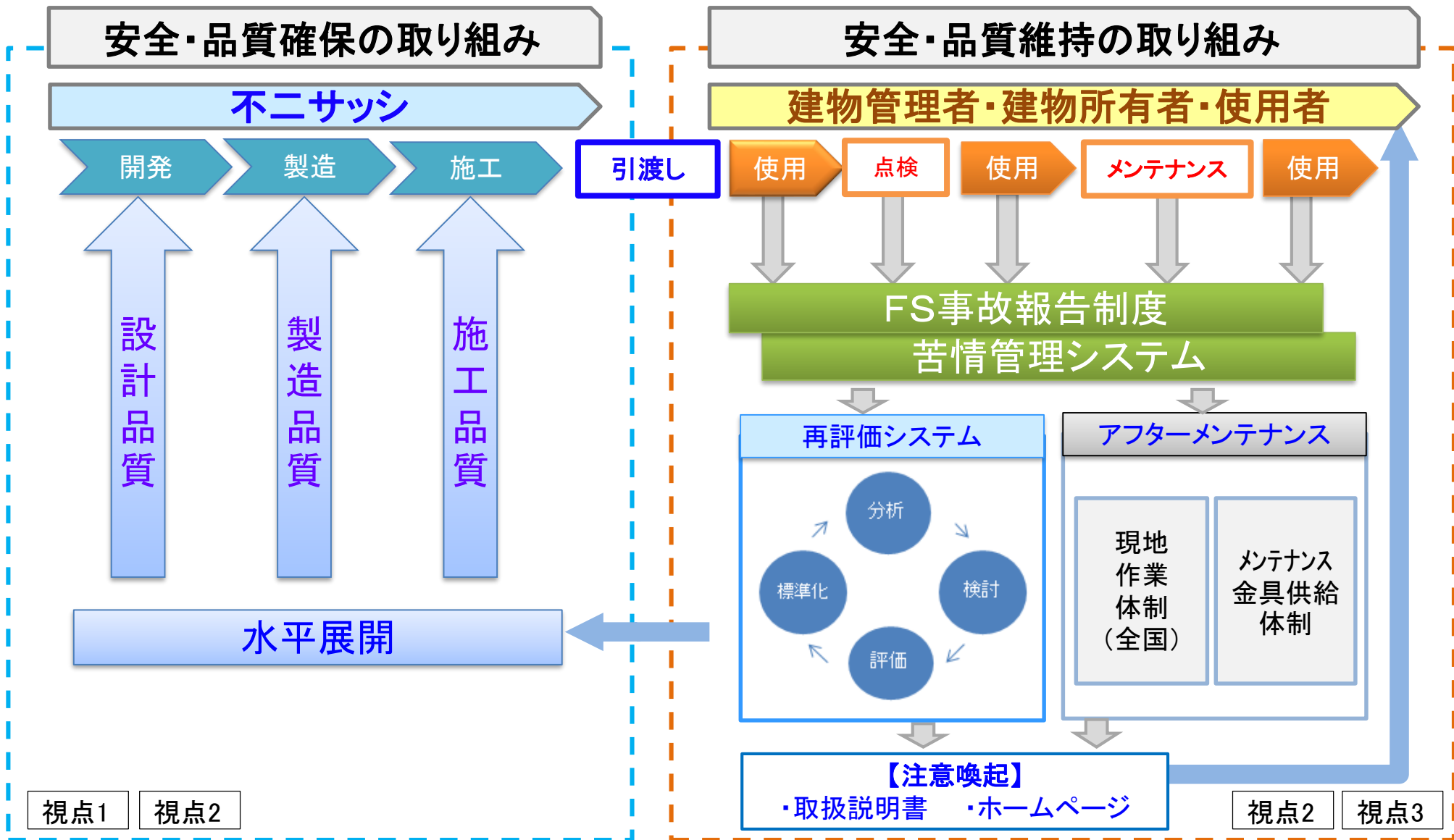
緊急対策検討委員会

危機管理本部

視点3

品質保証部

# 不二サッシグループの製品安全体制

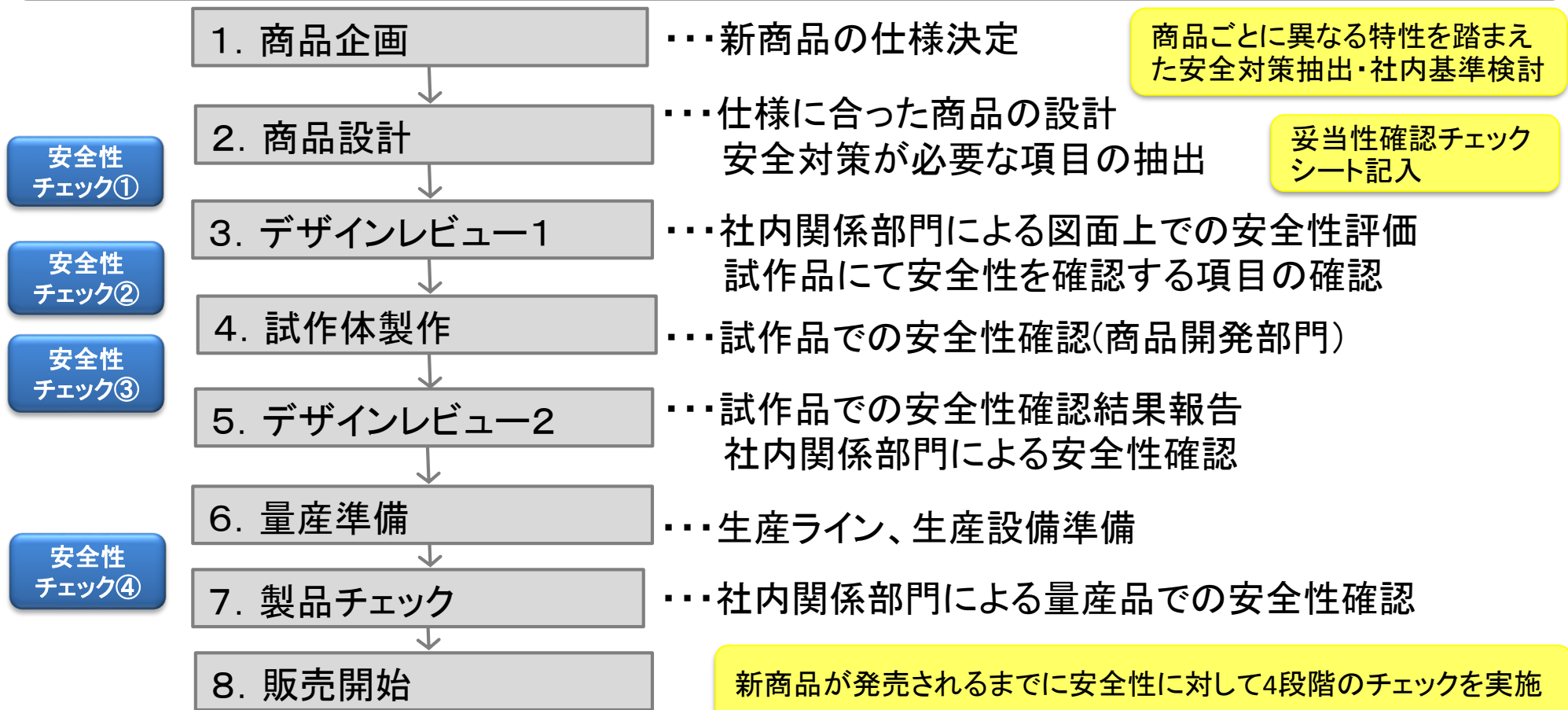


視点1

# 安全な製品を製造するための取り組み

# ●新商品の開発(開発フロー)

関係部門・関係者からの市場情報・顧客要望などを基に新商品を企画し、商品開発部門が新商品の開発を行なう。





# ●新商品の開発(安全性確認)

商品ごとに異なる特性を踏まえて抽出した安全対策及び社内基準を妥当性確認チェックシートに記入を行なう。

妥当性確認チェックシート (1/2) (潜在的な顧客要求, 使用者のニーズへの対応)		GQK-010 帳票-22			
開発テーマ名 チェックシートに記入 (図面発行の際に設計者が確認方法を記して確認し、検図時にグループ長が審査する) 凡例 ○: 確認済み、/: 該当なし		作成日	年 月 日		
確認要素	危険要因 * 確認とは 当事項に対する防止策がなされているかを確認すること	評価方法		審査	確認者
		基本 断商	試作品 目視 試験		
安 全 性	荷重・外力に対する安全性	寄り掛かる、凭れる程度で、倒れる、障子が外れる 解放時、強風で障子が煽られ破損する 強風時(風速10m/sec)に障子が閉まらない			
	形状の安全性	切断部が鋭利で手・足や指を傷つける 煽り止め金具で指を挟む 沓摺ですべてで転ぶ (表面形状、大きさ、傾斜の適切性)			
	操作上の安全性	操作時に身を乗り出し転落する 戸と枠の間で指挟みを起こす 戸が重く慣性大きい(始動が重い) 外れ止めが機能しない 内側障子のすれ違いで指挟みを起こす 浴室戸のガラスを破損する			

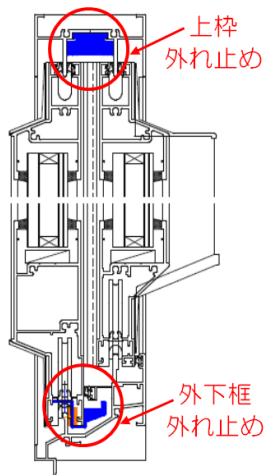
確認漏れが無いよう三重チェック

商品ごとに都度記入

# ●安全性に配慮した商品の事例-(1)引き違いサッシ

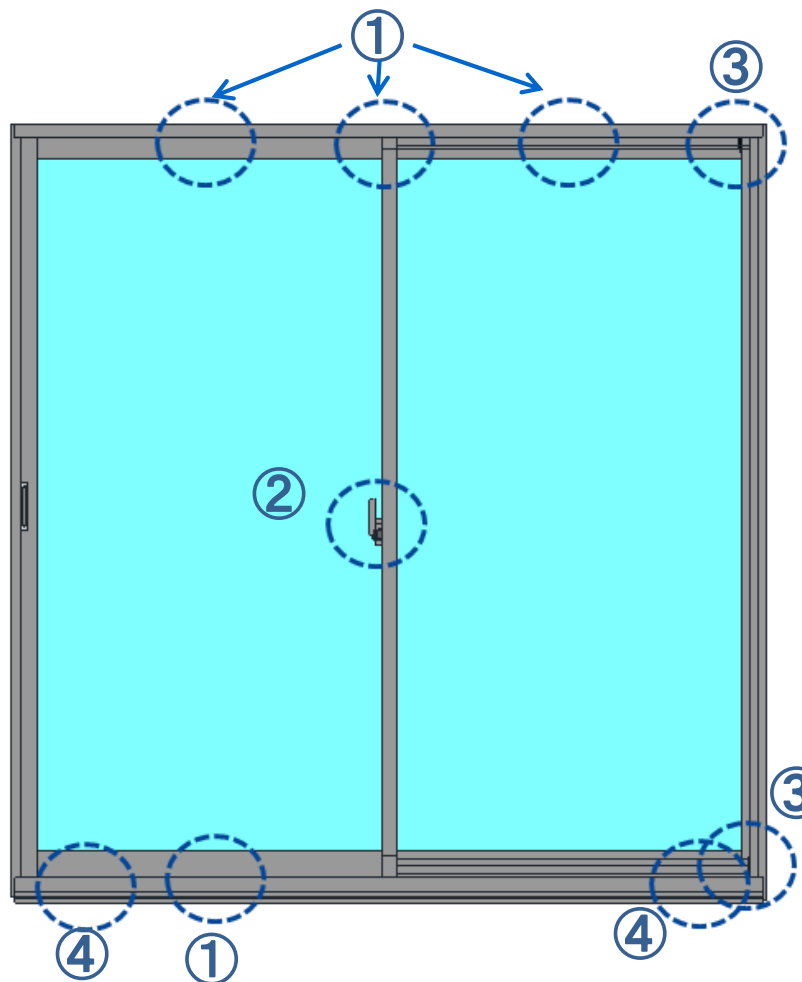
## ①障子の外れ止め

障子の外れ止めを上部のみでなく下部にも追加し、障子の脱落を確実に防止しています。



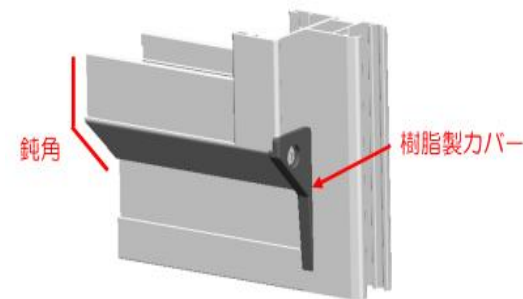
## ②クレセント

クレセントにトリガー機構を取り入れ、かけ損じによる事故を防止しています。



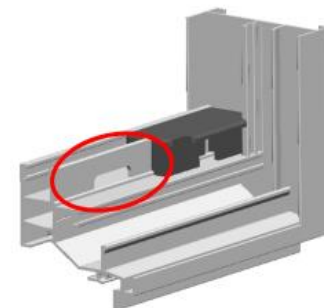
## ③樹脂カバー

障子の出っ張り部を鈍角にすると共に、樹脂製のカバーを取り付け、安全性に配慮しています。



## ④下枠レール加工

下枠清掃時などに怪我をしないよう、埃などを掃き出すためのレール部加工を角の発生しない切抜き形状としています。



# ●安全性に配慮した商品の事例-(2) 網戸

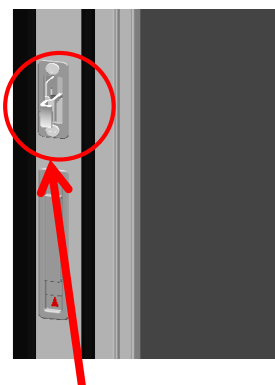
## ②自走防止金具

自走防止金具をセットすることで、突風時や強風時の網戸自走の衝撃による破損や怪我を防止しています。

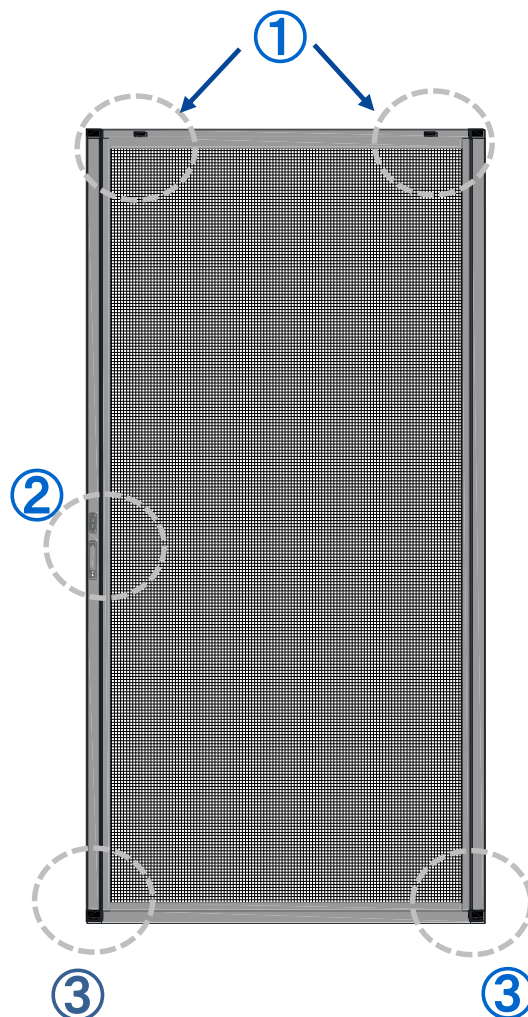
解錠状態



施錠状態

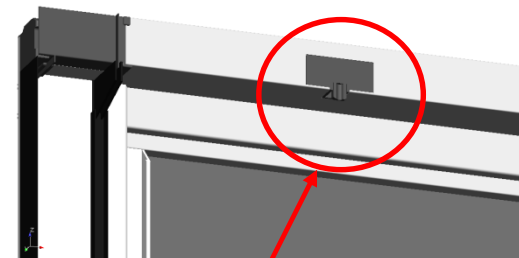


カマが出た状態



## ①自動セット式網戸外れ止め

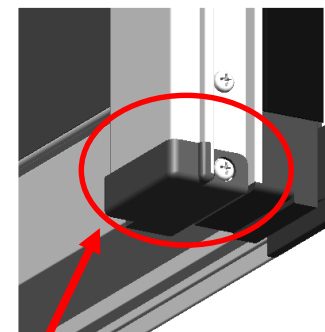
網戸外れ止めを自動セット式とすることで、セット忘れによる網戸の脱落を確実に防止しています。



自動セット式外れ止め

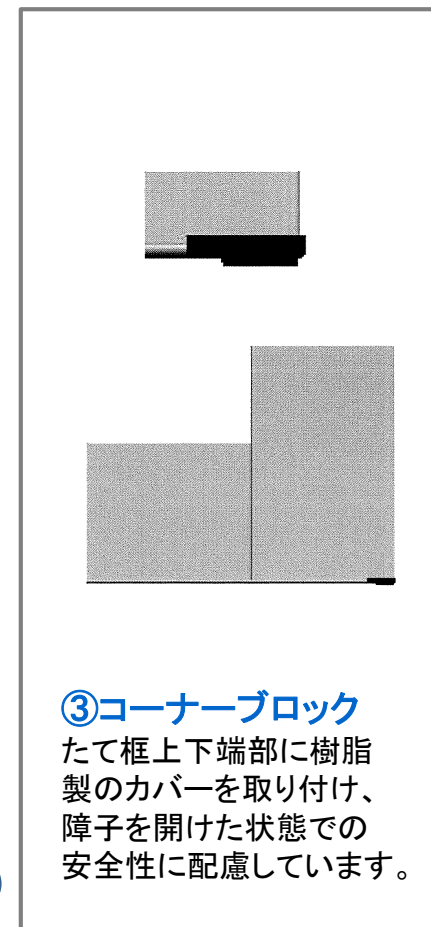
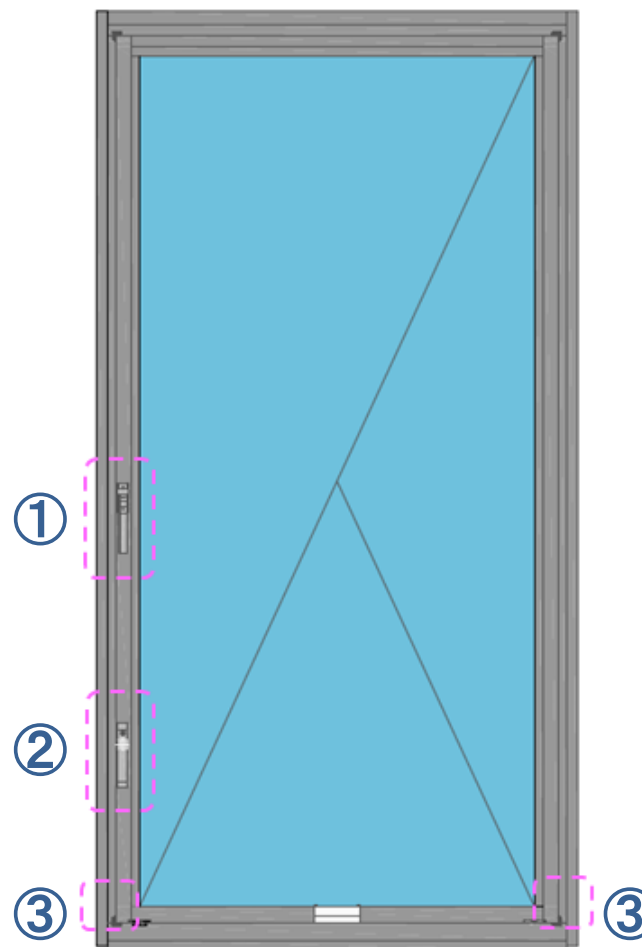
## ③樹脂製カバー

網戸を作動させた際の接触による怪我を防止するため、網戸下端部に樹脂製のカバーを取り付け、安全性に配慮しています。



樹脂製カバー

# ●安全性に配慮した商品の事例-(3)たてすべり出し窓



## ●使用用途に合わせた商品開発の事例(収集・分析)

今回、特定施設では、利用者が開口制限している窓の部品を壊して開口を大きくして部屋の外へ出た。早速、現地を訪問し、サッシの破損状況・使用環境などの情報を収集し分析を行った。

### ☆収集

- ①通常ではありえない部品の破損状態だった。



変形した部品

### ☆分析

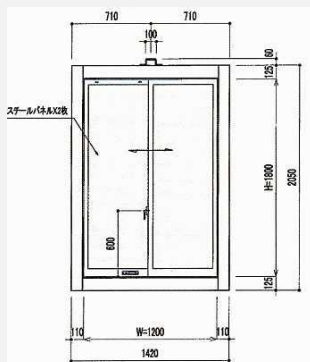
- ①意図的に部品が壊された。
- ②無理やり窓を開けようとしていた。



# ●使用用途に合わせた商品開発の事例(強度検証)

実際にどのような外力で現行品が壊れるか、強度検証を実施した。(社内基準データを採取)

## 【スライディング系】



現行品の試験体

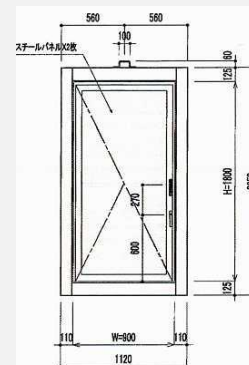


サッシに押力かける



サッシの変形を確認

## 【スイング系】



実際に隙間をこじ開けてみる



サッシに引張力かける



サッシの変形を確認

# ●使用用途に合わせた商品開発の事例(製品化検証)

分析結果と客先要望に対応できるサッシの製品化に向け検討を行った。

求められる性能・仕様基準の設定

開口保持力性能

耐押力性能



壊される際の  
想定される  
行動

有効な開口形式は？



・スライディング系



・スイング系

仕様・性能・基準  
の裏づけとなる  
根拠  
(出展・検証結果)



社内基準  
確認のための  
試験・検証  
方法は？

## ●使用用途に合わせた商品開発の事例(検証試験)

特別な施設に使用するサッシについては、求められる仕様や強度について、安全性を確保するための試験を行なった。

一般のサッシで対応できない場合は、独自に社内基準を設け、JISなど公的な基準にはない試験を行い安全と品質を確保している。

### ・はずれ止め

金属製にすることにより強度を確保



### ・はずれ止め強度確認

成人男性が無理やり持ち上げて外れないことを確認



### ・衝撃試験

人が体当たりすることを想定した衝撃をあたえ、障子が脱落しないことを確認





## ●使用用途に合わせた商品開発の事例(試作品の評価)

特定施設向けとして満足できる製品になっている事を確認するために関係部門による試作品の評価を行った。

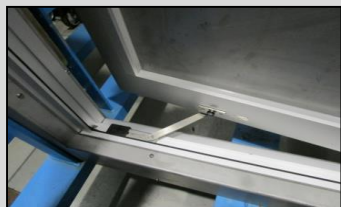
- ①お客様の要望を取り入れているか。
- ②必要な強度は確保できているか。
- ③部品が壊れていないか。



完成品



特定施設対応部品A



特定施設対応部品B

### 【関係部門による試作品の評価会】



性能評価



操作性評価

## ●使用用途に合わせた商品開発の事例（評価後の標準化）

特定施設向けの試作品を評価後、その安全性などを確保し水平展開するために「技術指針」と「販売マニュアル」を作成し標準化した。

☆ 商品開発部門・製品の安全設計をする際の「技術指針」を作成した。

☆ 営業部門・営業部門が活用する為の「販売マニュアル」を作成した。

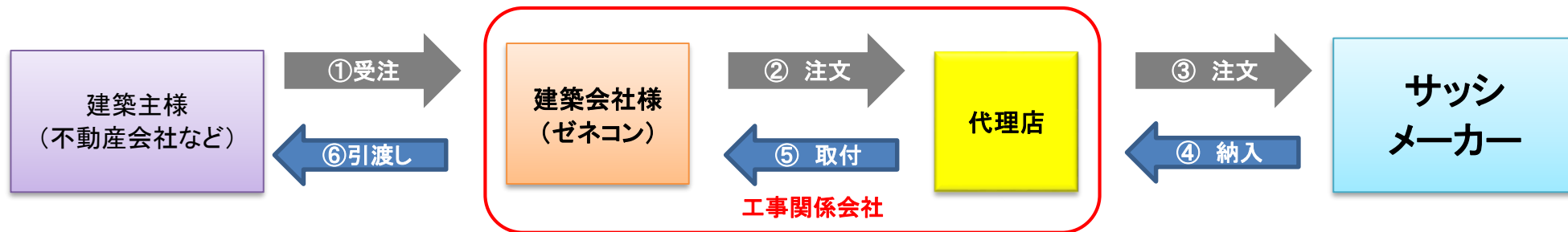
視点2

**製品を安全に  
使用していただくための取り組み**

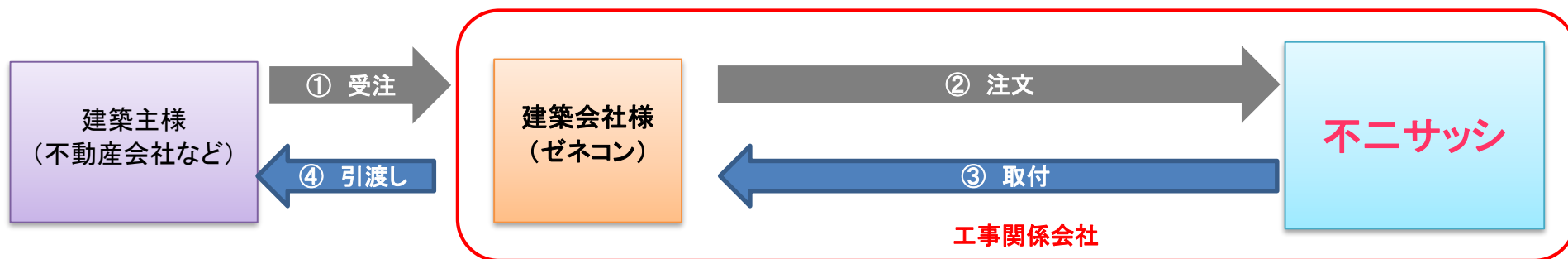
## ● 施工管理(体制)

メーカーの一元管理により 製品の品質を管理し安全を確保しています。

《一般的なサッシの受注からお引渡しまでの流れ》 代理店型



《当社でのサッシの受注からお引渡しまでの流れ》 メーカー一元管理型



## ● 施工管理(安全確保・品質管理)

施工に携わる技術者には必要な技能や知識を習得させ施工品質を確保しています。

製品の取付開始前に、誰が何を使用してどのような基準で作業するかを、施工品質管理表や作業手順書、施工管理マニュアルなどで明確にしています。





## ● 施工管理（勉強会）

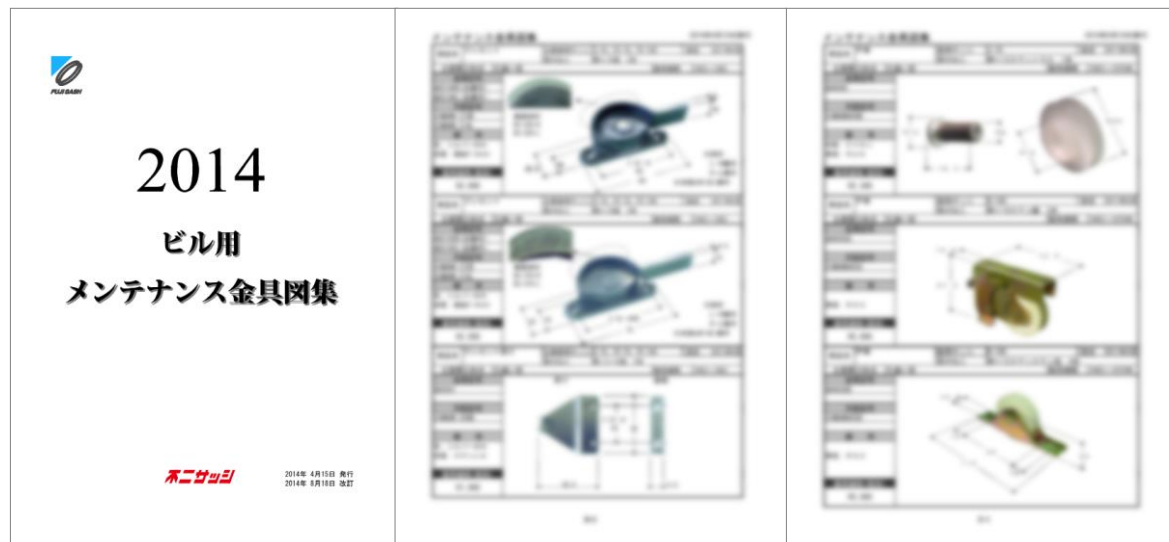
施工管理部門、施工業者を対象に、勉強会を開催し、施工マニュアルを基に、実際  
に取付作業を行い技術の習得を行っています。



## ● 施工管理(アフターメンテナンス)

製品を安全に使用していただくために、商品保証期間内の定期点検や保証期間後のメンテナンスを行っています。また、ライフサイクルの長いアルミサッシを長期間、正常な状態で使用していただくために、安全に係る重要な部品、金具は販売終了後も、供給できるように維持管理を行ない、メンテナンス体制を整えています。

メンテナンスは、日本全国の不二サッシグループ各拠点对応します。  
経験豊富なメーカーの作業員が直接対応し、安全・安心を確保しています。





## ●ホームページ(お客様サポート)

お客様に末永く製品を安全に使用していただくため、製品の使用方法に関する情報を取扱説明書だけではなくホームページからも情報発信を行っています。

また、2015年12月にリニューアルし**お客様サポート**を新設しました。

製品の採用検討情報からお引渡し後の取り扱い方法などの情報を掲載。

### 《商品を探す・CADデータ・カタログ》

製品をご検討されているお客様への商品情報の提供

### 《安心・安全について》

窓の性能を知っていただくことにより安全にご使用いただく情報の提供

### 《よくあるお問い合わせ》

フリーコールなどへの問い合わせが多い内容を掲載

### 《取り扱い説明書》

お引渡し時に配布しているが紛失しても大丈夫

# ●ホームページ(注意喚起)

製品事故の防止のため、ホームページ上で注意喚起を促しています。

## 手すり落下注意情報

平成 18 年 9 月 15 日

「ホーム手すり あさがお」をご使用のお客様へ

### お知らせ

1977年～1983年に販売してありました「ホーム手すり あさがお」におきまして、固定金具の一部に腐食が発生している物があることが見つかりました。本金具は、当時としては一般的な材料であるメッキ鋼板(電気亜鉛メッキ処理)を使用しておりましたが、発売から25年以上経過しており、経年劣化や海岸地域における塩害等で腐食が生じている可能性が考えられます。この状態を放置すれば腐食が進行して本金具の強度が損なわれ、重大事故につながる恐れもございます。

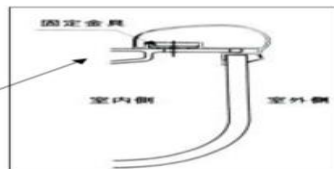
お客様におかれましては、下記の項目をご確認ください。

- 1) 手すりを持った時に、大きなグラつきがないか。
- 2) 手すりの固定金具にサビの付着が見られないか。
- 3) 他に異常を感じることはないか。

もし、上記の項目に該当する場合は、最寄りの弊社事業所までご連絡ください。尚、交換が発生した場合は、年数が経過しておりますので、有償となります事をご了解ください。

### お願い

サビ等が発生していない場合でも、物を載せる・物を掛ける・寄りかかる等の行為は、手すりの落下する原因にもなりますのでお控えください。



### 【手すり】

長期間ご使用いただいていると部品の劣化が進み、事故に繋がることがあります。

#### 《事故防止策》

- ①ご使用者自身での保守点検 ・ねじのゆるみ、破損の有無
- ②メンテナンス
  - ・異常を感じたら専門業者にメンテナンス依頼

## 網戸落下注意情報

### 安心・安全について

商品を正しく安全にお使いいただくための情報や、いつまでも美しく商品をお使いいただくための情報を掲載しています。

#### 網戸の取り扱いに関するお願い

網戸は、はずれ止め金具が確実にセットされていない場合、強風により脱落・落下する恐れがあります。特に清掃や網の張替え等により取外した事のある網戸については、はずれ止め金具が確実にセットされているか改めて確認していただくと共に、日頃よりはずれ止め金具が確実にセットされている事をご確認ください。網戸の脱落や落下による事故を未然に防ぐため、網戸の正しいご使用をお願いします。

#### 次のような網戸の使用はおやめください

#### 強風時は窓を開けた換気をやめ、窓を閉めてください

同じ空間の他のサッシやドアを開け閉めすることで風の通り道ができ、強風が室内を通過します。この室内の強風により室内のものが飛ぶことで思わぬアクシデントにつながります。

#### 強風時に窓を開けて網戸とカーテン(ブラインド)を併用すると、網戸がカーテンに重なり大きな風圧を受けることで網戸が破損(脱落)する恐れがあります

### 【網戸】

近年、高層マンションが増える中、風の影響で網戸が落下することがあります。

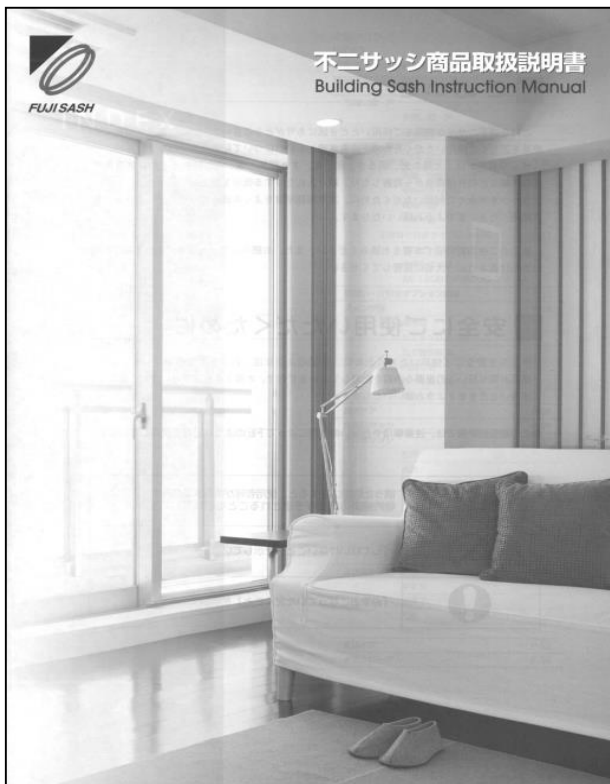
#### 《落下防止策》

- ①はずれ止めの重要性・はずれ止めの破損、セット忘れ
- ②カーテンが網戸に重なるとほろのような状態になる危険性
  - ・窓を開けた状態でカーテンを閉めない
  - ・風の強い日は窓を閉める

# ●取扱説明書-(1)

製品の重大事故を防ぐための **⚠️ ご注意** 情報だけではなく、日頃安全、安心して使用していただくための【**お願い**】情報も掲載しています。

## 不二サッシビル商品取扱説明書 本文(操作・取扱方法)



### はずれ止め金具

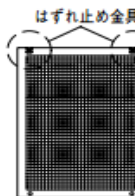
網戸の脱落を防止する金具で、網戸の上かまちの両端に取り付けられています。

### ■網戸の取りはずしとはずれ止め金具の調整方法

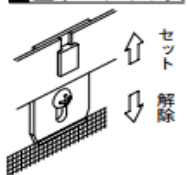
- ① 網戸をはずす時は、はずれ止め金具を解除して網戸を持ち上げ、網戸の下部を室外側へ振り出してください。
- ② はずれ止め金具は、商品により使用方法が異なりますので、下記の中から該当するはずれ止めを確認の上ご使用ください。

### △注意

1. お手入れなどのために網戸をはずした後、再び窓枠に取り付けたときは、はずれ止め金具を必ずかけてください。はずれ止め部品が正しくかかっていないと、網戸が窓枠からはずれて落下し、事故(人損・物損)につながるおそれがあります。



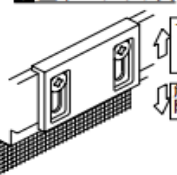
#### 1 上下スライド式



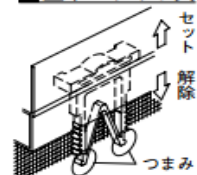
#### 2 上下スライド式



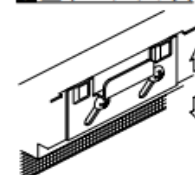
#### 3 上下スライド式



#### 4 上下スライド式



#### 5 上下スライド式



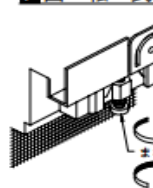
### ③ はずれ止め金具の調整方法

- ・ 1～3、5 の上下スライド式は、固定ねじをゆるめて金具を上スライドさせてから固定ねじを締め付けてください。
- ・ 4 の上下スライド式は○部ツマミをつまんで上にスライドさせ上枠に当たったところで手を離すとはずれ止めがセットされます。
- ・ 6 の自動ロック式は、網戸を取り付けると自動的にはずれ止めがセットされます。(金具の◎ボタンをドライバーで押すと解除されます)
- ・ 7 の回転式は、調整ねじを時計方向に回すとセットされます。

#### 6 自動ロック式



#### 7 回転式



# ●取扱説明書-(2)

## 危険な使い方:指を挟む

### 【ポイント】

サッシを開閉するときには  
気をつけないと指を挟み怪  
我をする恐れがあります。

安全にご使用いただくため  
の操作方法に加え、誤った  
操作をすると怪我に繋がる  
ことの説明と、お願い(注意  
喚起)を図でわかりやすく掲  
載しています。

これは、商品シリーズ別で、  
右記の項目について掲載し  
ています。

FNS-70     FNS-70AT     NLS-I     NLS-II     FNS-100     FNS-100AT     FNS-100断熱  
 FNS-70EAT     FNS-70P

### ■引違い窓・戸 (一般・防音・断熱タイプ)

#### 商品バリエーション



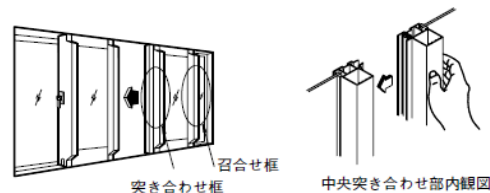
#### ■障子の開閉

##### ■開閉操作

- ①クレセントをロックが解除される方向に180°回転してください。障子が移動可能になります。
- ②閉める時は、クレセントが当たらないことを確認し、障子をスライドさせてからクレセントを回してください。

##### ■開閉操作(四枚建てのみ)

- ①障子を閉鎖する時は突き合わせ框または召合せ框を押して操作してください。



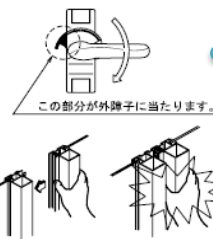
#### ■お願い

クレセントは、必ず右・左とも完全に180°回転してください。完全に回転しないと、障子が当たり破損や傷の原因となります。(共通)

突き合わせ框を持って操作する時は突き合わされる部分に手を添えないようにしてください。右図のように操作すると手や指を挟む危険があります。(四枚建てのみ)

クレセントは、必ず右・左とも完全に180°回転してください。片側だけのクレセント操作では障子がロックされません。また、完全に回転させないと、障子が当たり破損や傷の原因となります。(四枚建てのみ)

窓の開閉操作はゆっくりおこなってください。急激な操作は思わぬ事故やけがにつながります。



イ)商品シリーズ

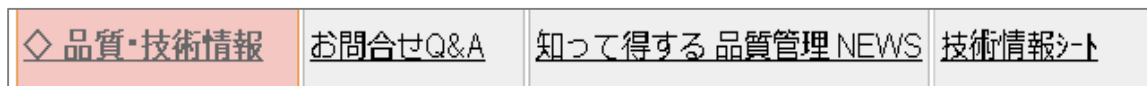
ロ)商品タイプ  
(開口形式)

ハ)操作方法

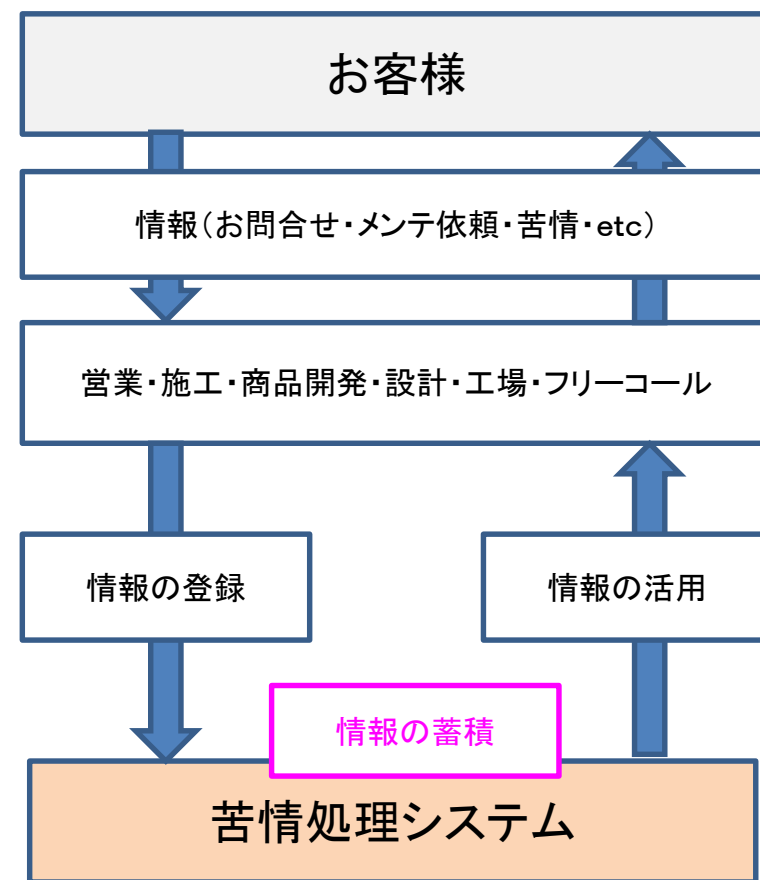
ニ)お願い  
(注意喚起)

## ● 苦情処理システムの運用

苦情情報などの、同様の問い合わせが発生した場合、迅速且つ統一された対応ができるよう、各拠点で受付・対応した情報をシステムに登録し運用しています。



苦情処理システムに登録された情報を分析し、特に知っておくべき内容については、各種ツールを作成し、社内イントラネット上に掲載し、閲覧できる。



視点3

# 出荷後に 安全上の問題が判明した際の取り組み

## ●製品安全行動指針

不二サッシグループは、製品安全を経営上の最も重要な責務のひとつと位置づけ消費者に安全な製品をお届けするために、グループ各社が製造・販売する製品の安全確保に努めています。

### 不二サッシグループ製品安全行動指針

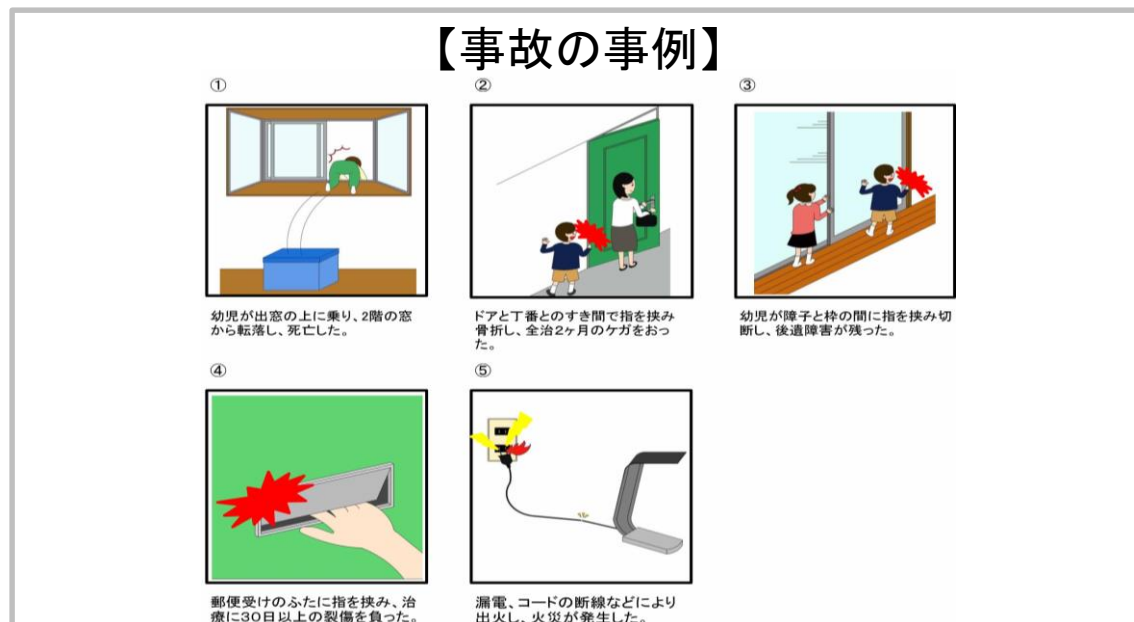
不二サッシグループは、コンプライアンス経営の一環として、製品安全を経営上の責務と位置づけ、お客さまに安心、安全な製品をお届けするために、グループ全体で製造・販売する製品の安全確保に努め、社会に貢献し、信頼される企業となるよう積極的に取り組んでいきます。

#### 1. 安全確保の体制整備

- (1) グループ全ての部門で、製品安全に関する法令及びその精神を遵守し、コンプライアンス経営を実践します。  
そのために、関連法令や製品安全に関する最新の情報を常に把握し、製品安全のための迅速かつ適切な対応に努めます。
- (2) グループ全ての部門で、製品安全の重要性を認識し、設計、開発、製造、施工等の業務に応じた安全管理に努めます。
- (3) お客様の声や市場の製品事故情報に伴うリスクを抽出、評価し、業務毎に反映させる等、継続的な製品安全の向上を図ります。
- (4) 製品安全確保に必要な各規程を策定、整備し、これを遵守します。

## ● 事故情報報告制度-(1)

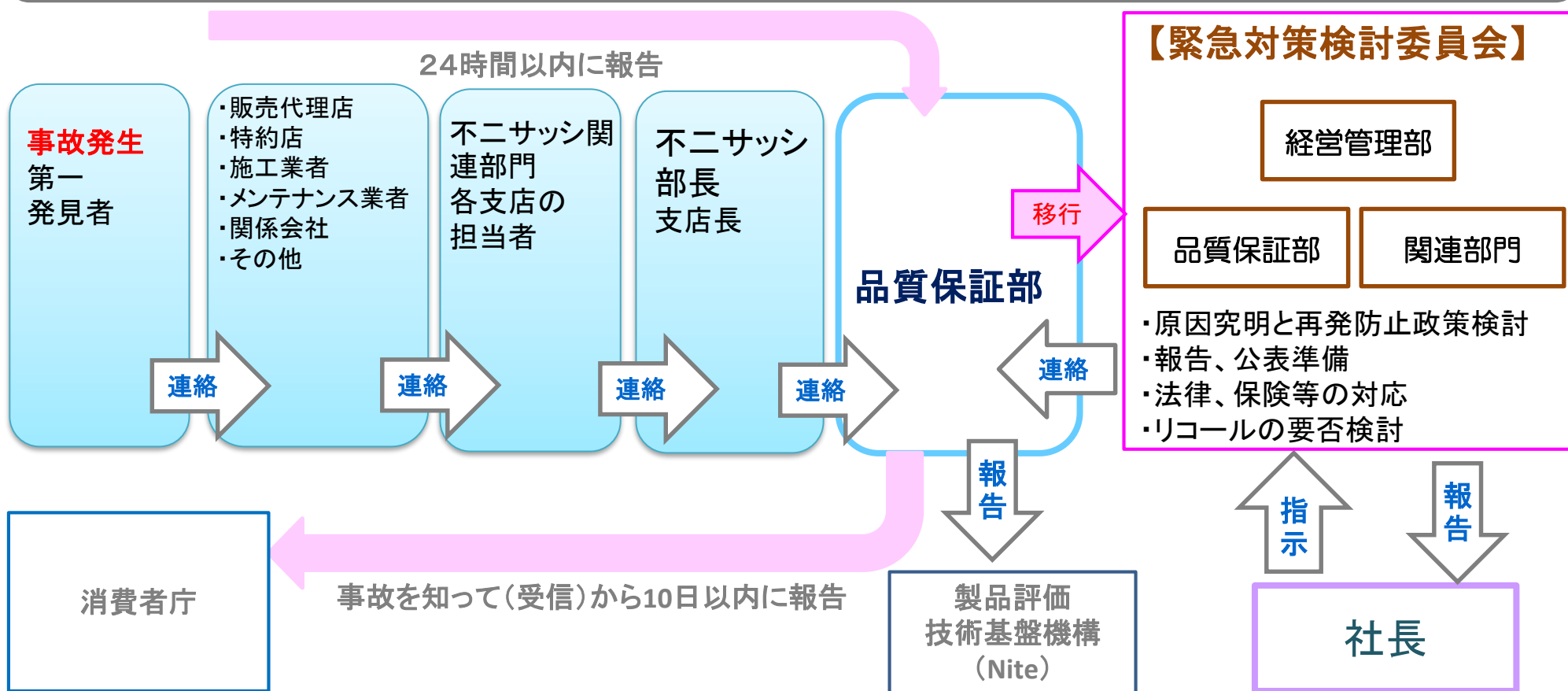
「不二サッシグループ製品安全行動指針」を策定するとともに、「FS事故情報報告制度」を制定し、不二サッシグループ全員に周知・徹底するため、＜不二サッシ事故情報報告制度小冊子＞を発行しています。初版：2008年4月1日発行 第8版：2017年5月1日改訂。これは、消費生活用製品安全法に定める“重大事故”に限らず、“軽微な事故”、“落下、脱落、飛散”、“漏水による拡大被害”も事故を知ってから24時間以内に品質保証部に報告することを義務付けた社内制度です。





## ● 事故情報報告制度-(2)

事故が発生してから、24時間以内に必要情報を記載、品質保証部への報告を義務付けています。



## ● 事故情報報告制度-(3)

### リコール実施要領と各種マニュアルの制定

事故が発生しないよう日頃から安全な製品の製造及び供給に努めることは当然のことですが、万一、事故の公表とリコール対応が求められる事態が生じた場合に、不二サッシグループが社会的責任を全うするとともに、信用と信頼を維持するための的確な対応をする指針として2007年7月に『不二サッシ(株)リコール実施要領』を制定し、それに関連するマニュアルを整備しています。

不二サッシ(株) リコール  
実施要領

不二サッシ株式会社

- ① 事故報告
- ② 苦情対応
- ③ 緊急対応
- ④ 不測事態対応
- ⑤ 事故情報共有

- ⑥ 製品回収
- ⑦ 交換・修理作業
- ⑧ 予防措置
- ⑨ 製品安全評価



視点4

## 製品安全文化構築への取り組み

## ●社内教育の実施-(1) 「製品安全に係る人材育成研修」

経済産業省が開催する「製品安全に係る人材育成研修」の受講者が講師となり、グループ会社や各部門はもとより、主要な特約店、現場でのサッシの取付をお願いしている施工業者に対しても勉強会を開催し、製品安全の重要性を周知しています。

### 【勉強会の風景】



## ●社内教育の実施-(2) 「新商品勉強会」

新商品についての知識習得を目的に、関係部門を対象に勉強会を開催しています。お客様へ、安心・安全をお届けするために、商品の細部まで理解するように心がけています。

### 【勉強会の風景】

LED製品の説明



性能試験



製品を操作



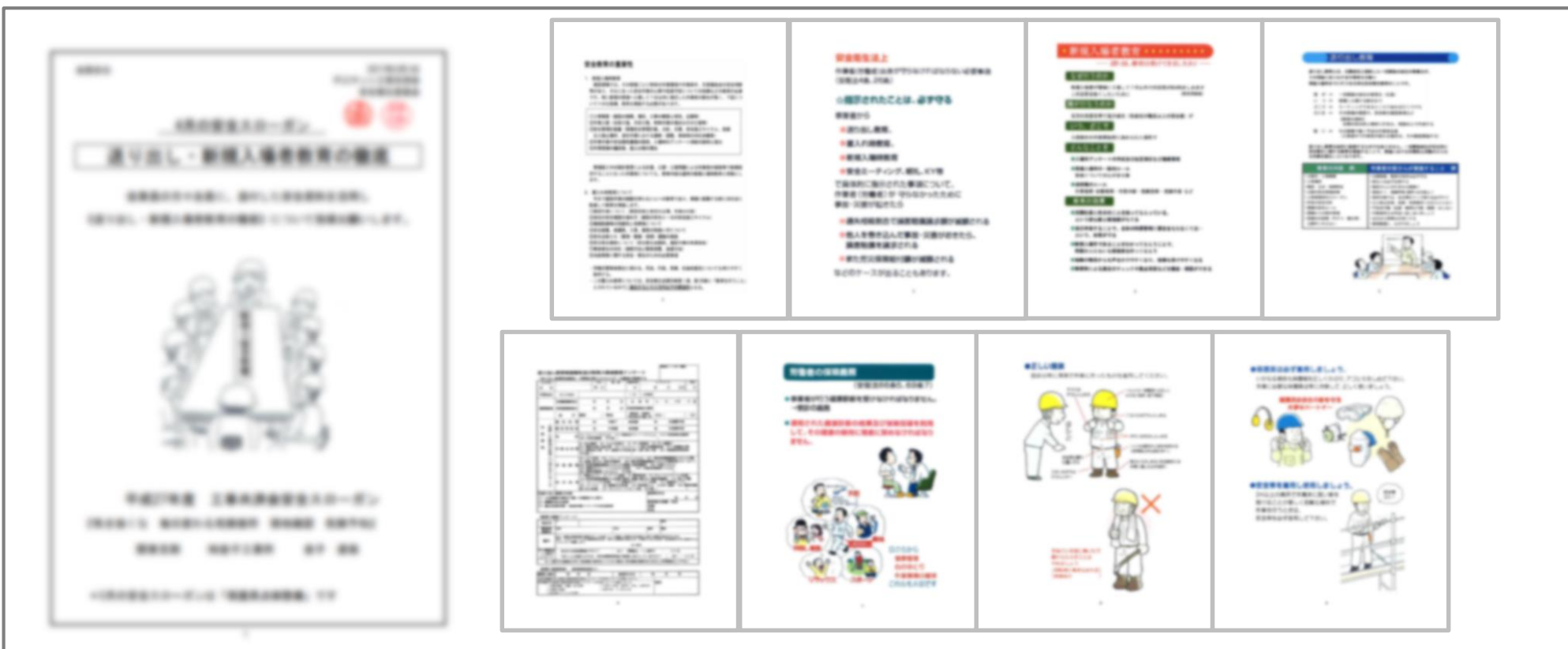
## ●社内教育の実施-(3) 「商品開発部門内の情報共有」

### 【勉強会の風景】



# ●社内教育の実施-(4) 「工事共済安全協議会」

毎月『スローガン』を掲げ、各支店の施工管理部門、施工業者を対象に、安全大会を開催し、事故を未然に防ぐよう努めています。





# ●外部団体への参画 サッシ協会

一般社団法人 日本サッシ協会に参画、「製品安全自主行動計画」(2008年3月策定)「リスクアセスメント導入ガイドライン」(2009年9月発行)など、製品安全に関するガイドラインの策定に参加すると同時に、同協会ホームページに掲載されている「安全にお使いいただくために」やパンフレットの発行など、一般消費者への注意喚起活動にも取り組んでいます。

## ・「安全にお使いいただくために」 (2010年7月～サッシ協会HPより)

安全にお使いいただくために

～サッシ・ドアを安全にお使いいただくために…ご注意のポイント～

サッシやドアは、日常生活の中でなくてはならないものです。また、お子様から大人、お年寄りまで、誰もが使用するものです。当協会の会員企業では、このことを念頭に、誰が使っても安全で使いやすい製品の提供を目指していますが、現状はサッシやドアによる事故が発生しています。消費生活用製品安全法に基づいて報告された事故が、消費者庁やNITE(ナイト：製品評価技術基盤機構)から公表されていますが、サッシ・ドアによる事故は、原因が製品の不備による事故以外に使用者の不注意によるものも少なくありません。当協会では、平成20年8月に策定した「製品安全自主行動計画」に則って製品安全活動を進めています。その一環として会員会社で発生した事故を参考にし、類似事故を未然に防止するため、消費者に注意喚起の情報提供を行うことになりました。サッシやドアのご使用の際に、ちょっとした注意を払っていただく大きな事故を防ぐことができます。ここに掲載した内容を読んで、ご自身で注意していただくと共に、お子様がいらっしゃる場合は、お子様が事故に遭わないよう、保護者の方から注意してあげてください。

ドア

ドアの工番側の端部と枠との隙間に指をさし込み骨折した

ドアのハンドル側の先端と枠との隙間に指をさし込み骨折した

かかとにドアの下端があたり、裂傷を負った

## ・「注意喚起パンフレット」 (2010年4月～サッシ協会発行より)

サッシ、窓、ドアなどの重大製品事故・非重大製品事故 発生状況

※2007年5月～2010年1月の(独)製品評価技術基盤機構「最近の製品事故情報(NITE最新)」より  
 ※発生する人数(複数)を1件とし  
 ※年齢が不明の事故を除く

年齢別の事故発生状況

幼児、子どもの事故が、半分以上(57%)を占めています。

事故の発生場所

幼児の事故の半分以上(57%)が、居室や浴室に発生されていると推定され、原因もほぼ同じです。

事故の内容

幼児、子どもでは、異物を取りこぼすことによる怪我(落下・刺刺)が、原因の大半を占めています。

事故の種類: 落下・刺刺, 閉まる, 壊れる, 開かない, 開かない, 開かない, 開かない

お子様を事故から守るために  
～ご注意のポイント～

「安全にお使いいただくために」(一般向け)のこのパンフレットの印刷複製は、ホームページでもご利用いただけます。

www.jsma.or.jp/

J.S.M.A. 一般社団法人 日本サッシ協会  
 〒105-0003 東京都港区赤坂7丁目1番1号  
 TEL: 03-3503-3440 FAX: 03-3503-3441

一般社団法人 日本サッシ協会

# PSアワード応募のメリット

- 様々な指摘とアドバイスをいただき、今後の製品安全活動に役立った。
- 受賞したことにより、幹部社員が製品安全の重要性を再確認できた。
- 名刺にロゴマークを入れることにより、お客様から信頼を得れた。



今後の取り組みへの意気込み

優良賞で満足せず、経済産業大臣賞の

受賞に向け、継続して積極的な製品安全

活動を続けて行きます！！

ご清聴ありがとうございました



製品安全文化定着化作業部会